

江南保健所こどもだより

びほくの輪~petit~

第3号 令和5年3月発行

<発行元>

愛知県江南保健所

江南市布袋下山町西80

0587-56-2157



1. 令和3年度にピアカウンセリングを開催しました！

令和3年11月に大口町健康文化センターにて長期療養児・家族交流会を開催し、4名の方にご参加いただきました。お互いに日頃の思いや疑問、嬉しかったことを語り合い、交流を図りました。

～参加者の声～

- お子さんが年上だったので、先のことに対することが聞けてよかった。共感してもらったり共感することも多くて、違う病気でも同じなんだなあと心強かった。
- 具体的な話や経験談が聞けて良かった。
- 色々な話が聞けて良かった。
- どのお母さんもそれぞれの悩み、苦労がありながらも前向きに頑張っていた。今なんとかかやれていることに感謝したい。

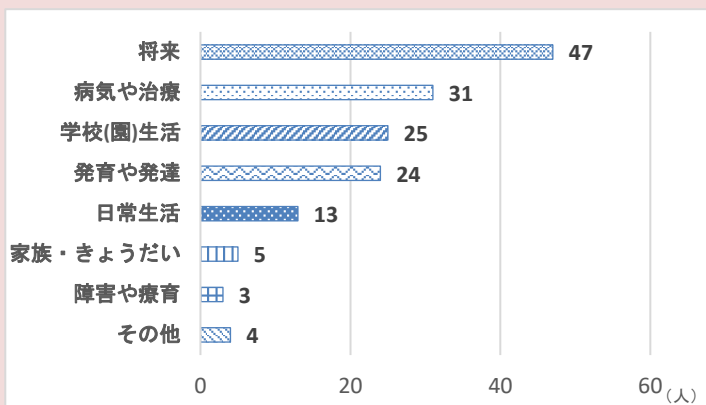


今年度は新型コロナウイルス感染症のまん延により、交流会を開催することができませんでした。次年度の開催については感染状況を踏まえ検討していきたいと考えています。広報や江南保健所のホームページでご確認ください。

2. アンケートから見える保護者の思いと日々の生活

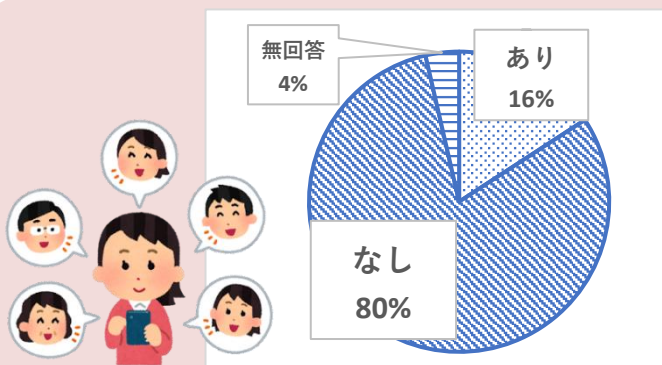
グラフ1 困りごとの種類 (n=63)

(R3年度 小児慢性特定疾病医療給付児へのアンケート結果より)



困りごとがあると回答した方の割合は135名中63名(約47%)でした。困りごとの種類としては「**将来のこと**」が最も多く、次いで、「**病気や治療のこと**」、「**学校(園)生活のこと**」の順に多い結果となりました。具体的には、**就園や進学、就労などの環境の変化**や、**今後治療を本人が行っていくこと**などに不安を抱える保護者の方が多い印象を受けました。

グラフ2 同じような病気の児や家族とのSNS上での交流 (n=134)



SNS上での交流があると回答した方は全体の16%でした。**Instagramやツイッターなどをフォローして投稿を見ている方が多く、自身で投稿している方もみられました。**SNSやZOOMでやり取りをしている方もおり、コロナ禍により直接会える機会は減少した一方で、**遠くにいる方でもオンライン上で交流が図れるようになった面もあるように感じました。**

3. どうしたらいいの？子どもが薬とうまく付き合っていくために

病気の治療に薬は欠かせないものですが、“子どもが薬を飲んでくれない”とお困りの保護者の方は多くいらっしゃるのではないのでしょうか？ 最初から子どもへの与薬が得意な親はいませんし、子どもへの与薬方法について学ぶ機会もなかなかありません。

そこで今回は、どうすれば子どもが少しでも薬を嫌がらずに飲んでくれるのかなどについて、トーカイ薬局岩倉店 薬剤師 丹羽孝（にわ たかし）先生にお話をうかがいました。



薬育って知っていますか？

薬育とは、**子どものうちから薬の効果や副作用、正しい使い方などを学ぶこと**をいいます。幼い頃から薬への理解を促すことで、自分の健康管理に関心をもつことができ、子ども自身の服薬意欲を引き出すことにも繋がります。



薬育はいつから始めたらいいの？

子どもが言葉をわかり始めたらスタートしましょう。イヤイヤ期が始まる**1～2歳では、薬がトラウマにならないようにすることが大切です**。3歳以降では、**どういうときに薬を飲まないといけないのかが徐々に理解できるようになります**。服薬するよう無理強いするのではなく、**子どもにもわかりやすい言葉で薬の説明を**しましょう。“お薬屋さんごっこ”や“お医者さんごっこ”を取り入れてみることもおすすめです。遊びを通して、子ども自身が薬の必要性を学ぶことができます。

また、薬が飲めたら、**大人は大げさと感じるほど子どもと一緒に喜びましょう**。ご褒美シールを渡してあげるのも良いですね。子どもにとってそれは楽しい成功体験として記憶に残り、自信にも繋がります。



自己管理を促すタイミングは？

個人差はありますが、学校生活にも慣れ始める**小学校高学年**くらいのタイミングから始めてみましょう。しかし、子どもに任せきりにするのではなく、**大人はこまめに残数のチェック**をすることが必要です。思春期の子どもでは周りとの違いを感じやすく、自分で自分を追いつめてしまう傾向にあります。大人が子どもの思いに寄り添いながら、理解を示しましょう。

最終的には、**子どもに“薬を飲ませる”のではなく、子どもが“自分から薬を飲む”**という形になるのが理想的です。

子どもの薬嫌いは普通のことです。大人が子どもへの関わり方を工夫することで、子どもがもつ薬への印象も変わります。

薬剤師は、その子に合った薬の飲み方をコンサルティングします。悩みは一人で抱え込まず、**相談相手として薬局の薬剤師をぜひ活用してください**。

小児薬物療法認定薬剤師

丹羽孝（にわ たかし）先生



4. トピックス ～『医療的ケア児(者)』初の全国組織が発足！～

全国医療的ケアラインのご紹介

全国各地の医療的ケアが必要な当事者や家族、支援者を一つにつなぐネットワークとして 2022 年に誕生しました。医療的ケアに関わる家族会が都道府県単位に会員登録する全国初の団体になります。

【愛知県の窓口】

愛知県医療的ケアライン

連絡先：aichi.careline@gmail.com

窓 口：村瀬晴美さん

皆さん、はじめまして！

愛知県医療的ケアラインの代表の村瀬と申します。

今までありそうでなかった愛知県全体の医療的ケア児者の家族会を、2022年12月に設立いたしました。何かお困り事などがあった時に気軽に声をかけて頂き、取りこぼしのないよう色々なところへ人と人を繋げられる、温かい会に成長出来たらと思っています。

まだ生まれたてのこの家族会をどうぞよろしくお願いいたします！

